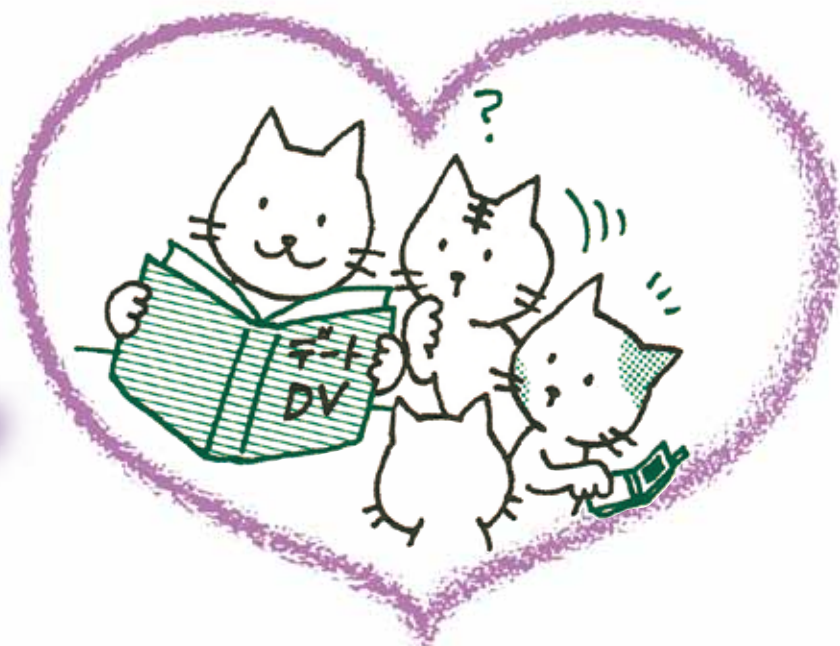


～よりよい男女関係づくりのために～

すぐに役立つ デートDV予防授業テキスト 及び相談対応マニュアル



暴力の防止のためには、「お互いを尊重すること」、「相手との異なる考え方や価値観の違いを認めること」、「自分を大切にすること」が大切です。

長崎県では、中学校・高等学校等において、若い人たちがDVの被害者や加害者にならないよう、お互いの気持ちを尊重し合えるような対等な関係を築くことの大切さを理解してもらうために、DV予防教育を実施しています。

平成25年3月



長崎県福祉保健部こども政策局こども家庭課

DV予防教育の必要性

暴力は、その対象の性別や加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。しかし、配偶者や、交際中の関係にある、又は、あった者から振るわれる暴力(以下、「DV」という)や若年層の男女間における暴力(以下、「デートDV」という)は、大きな社会問題になっており、被害者の多くは女性という現状にあります。こうした女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題であり、DV予防教育の実施による暴力の根絶について学習する機会が必要です。

学校において、DV予防教育を行うことは、男女の間のみでなく同性の友人関係、家庭での人間関係などにも、暴力のない対等な関係が大切だと気付かせ、人権意識を高める効果をもっています。また、DVのない男女の交際、そして、DVのない家庭を築くために、暴力についての知識をもつことは生徒の未来にとって、たいへん重要です。

実際にデートDVの被害を受けている場合は、被害の重大化防止、早期発見、早期の対応が期待できるとともに、望まない妊娠や中絶の予防にもつながります。

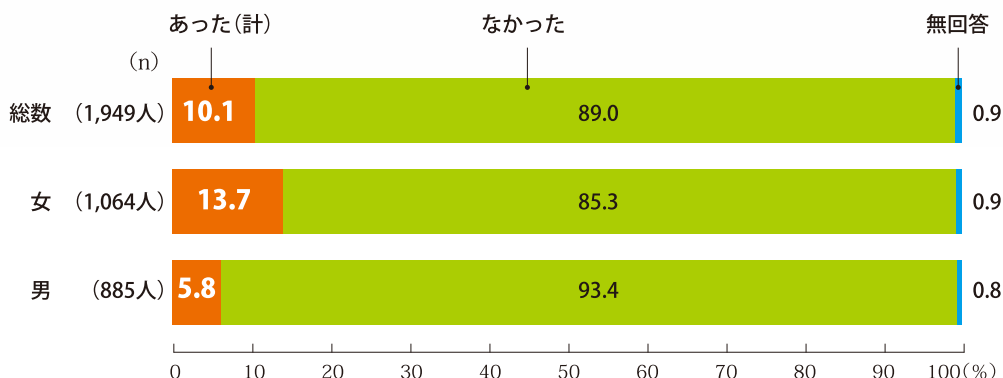
さらに、予防教育を学校内で実施することで、学校関係者がDVについて知識を増やし、恋愛におけるトラブルの相談への対応、DV家庭で育つ生徒への支援、関係機関との連携による問題解決などについて、関心が深まることが期待できます。

DVやデートDVの状況

内閣府が平成23年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」において、3人に1人の女性が、配偶者からの暴力を受けており、また、交際相手からの被害経験については、10歳代、20歳代のときの交際相手から被害を受けたことが「あった」と回答した方は、女性13.7%、男性5.8%であり、多くの人が暴力を受けた経験があることに驚きを感じざるを得ません。

昨今、デートDVやストーカー被害の問題が注目されていますが、その予防のためには、お互いの異なる考え方や価値観を認め合い、自分の気持ちも相手の気持ちも尊重し合えるような関係を築いていくことが大切です。

交際相手からの被害経験の有無



テキストの内容

本テキストは中学校・高等学校等でDV予防授業を行うための流れなどを分かりやすくまとめたものです。テキストの編集に当たり、長崎県教育庁指導主事、学校現場の先生方にもご協力をいただき、学習指導要領を踏まえた指導事例等を掲載しています。

また、授業実施に必要な教材(スライド、ワークシート等)や指導事例は、データファイルをCDに収録して、テキストと一緒に配布しますので、自由に変更して使用することができます。是非ご活用ください。

なお、本テキストは、県のHP(下記URL)からダウンロード(PDF)することができます。

<http://www.pref.nagasaki.jp/child/>

学習指導要領とDV予防教育の関係

中学校学習指導要領

<道徳>

2 主として他の人とのかかわりに関すること。

(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。

<特別活動> 学級活動

(2) 適応と成長及び健康安全

- ア 思春期の不安や悩みとその解決
- エ 男女相互の理解と協力
- ク 性的な発達への適応

高等学校学習指導要領

<特別活動> ホームルーム活動

(2) 適応と成長及び健康安全

- エ 男女相互の理解と協力
- オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立

指導事例

(3) 中学校での指導事例	
特別活動学習指導案	
学校名: ○○立○○中学校	
日 時: 平成○○年○○月○○日(○)○時	
場 所: 体育館	
学 年: ○年	
指導者: 教諭○○○○ 養護教諭○○○○	
1 題材名 「男女の対等な関係」(学級活動(2)-エ・ク)	
2 資料名 『対等な関係をつくるために』(DV防止なごさき)	
3 題材設定の理由	
性に興味、関心を抱き始める中学生の時期、男女交際にあこがれを抱く生徒も増えてくる。そんな中、友人や交際相手との関係において、自分勝手な行動から相手を傷付けたり、自分の気持ちをうまく相手に伝えることができずに悩む生徒も出てくる。そこで、この時期に、男女がお互いに尊重し合って、対等な関係を築いていくことの大切さを理解し、望ましい行動選択ができるように本題材を設定した。	
4 本時の学習内容(1/1)	
(1) 本時の目標	
男女が対等な関係をつくるために、自分勝手な行動から相手を傷付けたり、自分の気持ちをうまく相手に伝えることができない生徒も出てくる。	
(2) 展開	
1 本時	
2 展開	

中学校用、高校用それぞれにスライドと解説を掲載しています。授業時間など学校の実態に合わせてスライドを選択し、授業を組み立てて実施することができます。

テキストに掲載している中学校での指導事例、高校での指導事例は、学校現場の先生方に作成していただきました。Word版、一太郎版のデータファイルをCDに集録していますので、適宜データを変更(加工)して使用できます。

スライド資料例

シーン2 二人が対等ではないときの会話

冬子 ねえ、ねえ、秋夫、ケータイ、ちょっと見せて？
秋夫 え、なんで？ いやだよ。
冬子 いいから見せてよ！ あれえ、女の子からメール来てるじゃないの、ひどーい！ 私と付き合うんなら、他の女の子のアドはいらんないはずだからね。
秋夫 えー、クラブの仲間のメアドだよじゃないか。
冬子 私と付き合うなら他の女の子のアドジャン。私だって秋夫以外の男だよ。それとも他の女の子と付
秋夫 そうじゃないけど……。いいよ、もう絶対メールも電話もしないよ。

おれのこといつも最優先にしろ

交際中に起きる困ったこと

服装や髪型をうるさく注意する

このアドレスは誰のだ！(勝手に携帯チェックする)

性的接触を無理やりしようとする

大声でどなるたたいたりけったりする

こういう行為はデートDVです「おかし」「これって変」と気づいてほしい

メールや電話にすぐ返事しないと怒られる

長崎県内における予防教育の実施状況

NPO法人DV防止ながさきは、2004年度から全国に先駆けて、長崎県内の中学校・高等学校等でDV予防教育を自主的に取り組んでいます。

年度	中学校		高等学校		その他、大学等		合計	
	回数 (回)	受講者数 (人)	回数 (回)	受講者数 (人)	回数 (回)	受講者数 (人)	回数 (回)	受講者数 (人)
2004	0	0	11	2,542	5	888	16	3,430
2005	0	0	15	2,281	4	452	19	2,733
2006	3	245	38	9,767	4	470	45	10,482
2007	12	1,778	42	6,890	5	750	59	9,418
2008	12	1,902	40	8,965	7	1,054	59	11,921
2009	21	2,100	27	7,277	5	400	53	9,777
2010	26	2,883	31	7,019	4	705	61	10,607
2011	32	3,391	35	10,247	5	725	72	14,363
2012 (見込み)	32	3,358	37	10,964	4	610	73	14,932
合計	138	15,657	276	65,952	43	6,054	457	87,663

※年度内に同じ学校で複数回実施する場合もあるため、学校数ではなく、実施回数にしています。

長崎県内の相談機関


困難な事例については、専門の相談機関に相談しましょう。

- 配偶者暴力相談支援センター（月～金 9:00～17:45）
 - 長崎子ども・女性・障害者支援センター ☎ 095-846-0560
☎ 095-846-0565
 - 佐世保子ども・女性・障害者支援センター ☎ 0956-24-5125
- 長崎県男女共同参画推進センター
 - 一般相談（月～金 9:30～17:00） ☎ 095-822-4730
 - 男性相談（第2・4水曜 18:00～21:00） ☎ 095-825-9622
- 県警本部ストーリー・DV相談（内線3034または3044） ☎ 095-820-0110
- 県警本部性犯罪被害110番 ☎ 0120-110874
- 民間団体 DV防止ながさき
 - 長崎（月・水 13:00～17:00、19:00～21:00、土 13:00～17:00） ☎ 095-832-8484
 - 佐世保（火 17:00～20:00） ☎ 080-2794-8022

※お住まいの市町・警察の窓口においても相談を受け付けています。

DV相談ナビ 0570-0-55210
お近くの相談窓口を自動音声によりご案内します。



 長崎県福祉保健部子ども政策局子ども家庭課

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

TEL:095-824-1111(代表)

095-895-2443(ダイヤルイン)

FAX:095-825-6470

ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/child/>